

2018年4月

入社式社長挨拶(要旨)

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正明

2018 年度入社式 社長挨拶

入社おめでとうございます。

本日、期待に燃えた目を輝かせた新入社員の皆さんを、クラレグループに迎えることができて、本当に嬉しく思います。

グループを代表して挨拶を申し上げます。

皆さん、ご存知の通り2月に開催された平昌オリンピックで、当社スキー部所属の高梨沙羅選手が銅メダルを獲得しました。グループ社員一同、ほっとすると同時に大変嬉しい結果となりました。この高梨選手は21歳と皆さんより若い年齢ながら、世界の舞台で戦って、今シーズンは苦しみながらもオリンピックでの銅メダルに加え、ワールドカップ2勝を追加して通算55勝の記録を打ち立てました。

でも、高梨選手は突然、世界の舞台で活躍したわけではありません。小学校2年生からジャンプをはじめ、3年生で地元のジャンプ少年団に入って本格的に取り組みました。13歳でスキージャンプコンチネンタルカップ(ワールドカップの一つ下の格付け)で初の3位入賞、翌年は同カップで2勝、そして次の年2011~2012年はワールドカップ初優勝、シーズン3位入賞となりました。次のシーズンから快進撃がはじまって、ワールドカップ8勝でシーズン総合優勝、翌年は15勝で2回目の総合優勝を成し遂げました。しかし、この年のソチオリンピックでは圧倒的な優勝候補でありながら、風に恵まれずに4位に終わり、大変つらい思いをしました。

それから4年、今回ようやくオリンピックメダルを獲得することが出来たのです。

私は皆さんが将来、高梨選手のように世界の舞台で、世界と戦えるクラレパーソンになっていただきたいと思います。そして皆さんならきっと、そうなれるでしょう。そのためには、これからはじまるクラレグループでの会社生活を大事にして、小さくても良いから日々一歩一歩、成長を目指して努力を続けてもらいたいと思います。

ここで、その努力の具体的内容に入る前に、少し話題を変えます。皆さんは何のために働きますか？皆さん方の先輩は、生活の糧を得るため、家族を養うためにクラレグループで働いています。しかし、これをもっと高いレベルで捉え直すと、我々は幸せになるために、幸せな生活、幸せな人生を送るために、ここで働いているのだと私は考えています。そのような会社で、病気があったり怪我があったり、不幸になるようなことがあってはならない、ましてや過労死などというようなことは、絶対にあってはならないと思います。私はクラレグループ

を、そういうことが無い、そういうことが起こらない職場・企業グループにしたいと考えています。

もの作りによって社会に貢献するメーカーとして、クラレグループは生産現場の安全確保を大変重視しています。このため我々は「安全はすべての礎」という言葉を掲げて、安全活動に取り組んでいます。皆さんもこの言葉を常に頭において、仕事に取り組んでいただきたい。

次に私はクラレグループを、グループ社員の皆さんが「そこで働くことに誇りを持てる会社」にしたいと考えています。良き企業市民として世界の皆様から認められ、評価していただけるように、クラレはその企業活動の基礎となる企業ステートメントを制定しています。このステートメントには大きく3つ、「私たちの使命」「私たちの信条」「私たちの誓約」を掲げ、それぞれに具体的な内容と考え方を説明して、社員が仕事に取り組む際に、各自がもつべき判断基準と、なすべき行動を考える拠り所として活用できるよう努めています。

3番目に私はクラレグループを「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に発展していく会社」にしたいと考えています。クラレは今まで独自技術にこだわり、その技術をベースにして発展してきました。今後はその独自技術に加えて、クラレの内外にある新しい技術・力を活用して、コア事業はさらに強く大きくするとともに、成長を期待する事業は新技術による新商品開発、新用途開拓による規模拡大と収益向上を図り、今後も成長を続けていく会社でありたいと考えています。

以上、3つのクラレグループとして在りたい姿は、今後も色々な場面で繰り返し聞くことになると思います。

さて、次にこれから皆さんが社会人生活を送る上で、努力すべきことというよりも、さらにそれ以前の仕事に取り組む心構えについて、4つ話をします。

まず1番目は「よく聞く」ということです。

私は45歳の時に中国駐在を命じられ、衣料品縫製会社の設立と工場立ち上げの仕事に就きました。これは本当に苦労しましたが、一方で大変勉強になりました。私はそれまで、縫製の「ほ」の字も知らなかったのですが、子会社のクラレトレーディングに出向して経営企画の仕事をしている時に、縫製会社の設立と工場の立ち上げというプロジェクトをサポートしました。そうするうちに、自分が責任者として中国に駐在してこのプロジェクトを遂行するよう命じられたのです。

中国での会社設立はクラレグループでも初めての経験でしたので、とにかく皆さんに教えてもらうしかありません。中国のたくさんの役所・税関・銀行・電力会社や建築会社、そして縫製した製品を納めるお客様・マシンメーカーさん・設備屋さん・社内の縫製担当者・コンサルタント会社など、周りの全ての方々に頭を下げて教えてもらいました。そして、その教えを実行してみて、問題にぶち当たると自分なりに考えて、それからまた教えてもらうという繰り返

返してでした。

この経験を通して私は、知らないことを聞くのはまったく恥ずかしくなくなりました。また、率直に頭を下げて教えを請えば、大多数の人はそれに応えて、親切に教えてくれるということ学びました。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉もあります。皆さんもこのことを心がけてください。

2番目は「小さな仕事を大切に」ということです

「そんなつまらないことをするために、この会社に入ったのではない」というようなことを言う若い人がいました。しかしそれは大きな間違いです。小さな仕事もちゃんとできない人に大きな仕事を頼むはずがないのです。小さな仕事であっても誠実に取り組んでやり遂げる、この積み重ねの過程で信頼を勝ち取ることができれば、少しずつ大きな仕事を任せてもらえるようになるのです。初めは雑用と思われるような小さな仕事も多いでしょうが、決して疎かにせずに取り組んでください。

次に3番目は「仕事に取り掛かる前から、できないと言わない」ということです。

私の子供が小さかった頃、彼らにとって初めての食べ物が出されることがありました。私はその時に「とにかく一度、口に入れてごらん。食べられなかったら、このティッシュに吐き出しても良いから、トライしてごらん。吐き出すことになっても怒らないよ、今まで経験のない食べ物なのだから」と言いました。また「君たちは、食べたことがない食物がまだまだ世の中には沢山あるよ。それを食べるまえから、『エー！』とか『イヤだ』とか言っていたら、美味しいものに巡り合うチャンスが減ってしまうよ」とも言っていました。

仕事もある部分似たような所があります。皆さんに与えられる仕事は皆さんの能力や仕事量をみながら、上司・先輩が用意してくれるのです。それを自分ができるとかできないとか判断するだけの経験は皆さんにはないし、そんなことを考える必要はないのです。とにかく、精一杯取り組んでみる。わからないことは周囲の皆さんに聞きながら、必死でやってみる、その姿勢が大事です。これは無理だと判断したら、上司・先輩が助けてくれます。或いは、もう少し他で経験を積んでからの方がよいとなれば、仕事の順序を入れ替えてくれます。また、あなた方がこの仕事に向いていないとなったら、配置転換も考えてくれるでしょう。でも、自分自身は与えられた仕事から逃げずに、精一杯に取り組む。言われた瞬間は大変な仕事だと思ったけど、少しやり始めたら意外とできたということになれば、しめたものです。言われた仕事はとにかくできるだけ早く着手してみることが大事です。取り組む前から悩んで手を拱いていると、ドンドン大きな難しい仕事に見えてくるのです。

4番目は「失敗を隠すな。失敗から逃げるな」ということです。

皆さんはこれから仕事をして行く上で、たくさんのエラー・失敗をしたいと思います。今まで十分な経験を積んでいないのですから、失敗することはある意味仕方がないことでもあります。プロ野球や高校野球でエラーした選手はどんな行動を取っていますか？自分のミスからボールを敵に奪われたJリーガーはどうしていますか？必死になってボールを追いかけ、ランナーの進塁を少しでも止めようとしていますね。ボールを奪い返そうと、必死になって相

手を追いかけていますよね。つまり被害を少しでも小さくしようとしているのです。

皆さんも、失敗した時にそれ以上に被害が拡大しないように、拡大や炎上を防ぐ対策を必死でやると同時に、できるだけ早く上司・先輩に報告することが大切です。失敗を挽回する場面でも経験の少ない皆さんよりは、数多く失敗を経験してきた上司・先輩の方が早く有効な対策案の知恵はたくさんあるはずですよ。

もし失敗しても、それから逃げずに必死に挽回しようと頑張ったり、素直にアドバイスに耳を傾けて取り組んだりしている姿を見た上司や先輩は却って皆さんの姿勢を好感して、色々教えてくれたり助けてくれたりするのです。そしてそんな事を通して、皆さんに対する信頼感ができてくるのです。

4つの心構えをお話しました

「よく聞く」ということ

「小さな仕事を大切に」ということ

「仕事に取り掛かる前から、できないと言わない」ということ

「失敗を隠すな。失敗から逃げるな」ということ

この4点を皆さん、肝に銘じて実践していただきたいと思います。

最後にもうひとつ話をしておきます。

皆さんは入社したばかりなので、まずは自分の健康を損ねないこと、仕事の現場で怪我をしないことが第1です。健康管理をしっかりとやりながら事業所での実習の間、大きく目を見開いて色々なことを見ていただきたい。

先ほども申し上げましたが、クラレグループは、「安全はすべての礎」という言葉を行動原則として掲げ、従業員の皆さんが安心して操作できる設備や機械を設置し、さらに安全に作業ができるよう改善活動や投資を行っています。そして、クラレグループの全社員が安心して働ける明るい職場環境の整備と制度の充実に取り組んでいます。

またクラレグループは、その生産活動によって近隣住民の皆様の生活環境に影響を及ぼすことが無いよう、安全で安定な生産活動を追求し、排出物や騒音の低減などの環境保全活動を推進しています。

これらの活動も含めてメーカーの根本である生産活動を担っている事業所で、生産現場を身近に経験して実習することは大変有意義だと思います。

この実習を通して自分の目で見ることと自分の頭でよく考えることを身に付け、1日も早く立派なクラレパーソンとして自立できるよう頑張ってください。

以上、皆さんの入社に際しての私の挨拶と激励の言葉といたします。

以上